



### 第70回

大蘇芳年（1839～92）は天保10年、江戸新橋丸屋橋の商家に生まれ、本姓を吉岡、通称を米次郎と言いました。11歳の時、絵師を志して歌川国芳に入門し、師の作風を継いで武者絵を得意としていました。文久元年（1861）、師歌川国芳が没し、さらに明治維新を迎えると西欧文化の流入により浮世絵は衰退し始めますが、芳年の人気は衰えることはありませんでした。ところが明治5年に神経症を発症し、一時期仕事が出来なくなります。翌年には回復しましたが、芳年は以後、終生この病に悩まされました。

「月百姿」は芳年が明治18年から25年（1886～92）まで8年の歳月をかけて制作した全100図からなる揃物です。中国や日本の月にちなむ説話・故事・伝承で構成され、摺彫技法や色彩も精細に仕上げました。構図は参考図書類から参照していますが、芳年の作風の中で独自の解釈がなされ、種本の存在を感じさせない作品となっています。

今回紹介するのは「月百姿 玉兔 孫悟空」です。玉兔は月で仙薬をついているとされる中国の伝説上の兎で、『西遊記』には地球に降りてきて人間に化けていた話があります。

図は空中に逃げる玉兔とそれを追う孫悟空を描いたもので、画面いっぱいの満月を背景に躍動感あふれる傑作となっています。

## 企画展

たいそ よしとし つきひやくし  
【大蘇芳年没後120年記念 月百姿展】



「月百姿 玉兔 孫悟空」(川崎・砂子の里資料館蔵)

この度は大蘇芳年没後120年を記念して芳年最晩年の傑作であり、最大の揃物「月百姿」より約60点を選び展示致します。最後の浮世絵師といわれた芳年の作品をぜひご覧ください。

馬頭広重美術館 学芸員 塩野目育枝

- 【会 期】7月1日(金)～31日(日)
- 【開館時間】午前9時30分～午後5時  
(入館は午後4時30分まで)
- 【休 館 日】月曜日、祝日の翌日
- 【入 館 料】大人 500円 (450円)  
高・大学生 300円 (270円)

※( )は20名以上の団体料金。  
※70歳以上の高齢者、中学生以下は無料。  
※障がい者手帳等をお持ちの方・付き添いの方1名は半額

### ミニギャラリー 作品募集!

あなたの作品を出展してみませんか?

写真、絵画、絵手紙などの作品をお待ちしております。

申し込み・問い合わせ:  
企画財政課広報広聴係

☎0287-92-1114

### ミニギャラリー ～6月5日開催の「ポピー祭り」から～



なごみの里公園内・ポピー園



よさこいソーラン踊り(ゆめっこ)